

audacity の特徴のひとつに、長尺ファイルの取り扱いがある。Windows OS の問題から、オーディオデータのファイルサイズは一定のサイズ (2GB) を超える作成がなされないように設定されたソフトウェアが多いが、audacity ではこの上限が無く、このため長尺の録音物の編集や、分割保存されたファイルの復元にも使用できる。

2GB の録音物がどれくらいの長さなのかをまとめると、(ステレオ 2 チャンネルとして) 単位は分 (概算：これよりも少し短い)

	fs 44.1kHz	48kHz	96kHz
16bit	195	180	90
24bit	130	120	60
32bit	95	90	45

この時間を超える用途としては、音楽ライブや芝居、映画の同録などがある。また重要なイベントや講演などでは、原則として回しっぱなしで記録されることが原則となる。

ところがほとんどの録音ソフトでは 2GB 単位でファイル分割され、その 2GB 単位の継ぎ目があると価値が半減する場合もあり、できるなら継ぎ目無しにしたいことはよくある。

近年普及が著しい、フラッシュメモリーを媒体とした録音機でも、同様に 2GB 単位でファイル作成される機種がほとんどで、同様に復元の必要がある。ただし、録音機の場合は、ファイルとファイルの間に、隙間 (録音されない状態) ができるものとできないものがある。例えば ZOOM 社の H4 では隙間ができるが、H2 や H4n では隙間ができない。録音を始めたら、とりあえず 2GB 単位でファイル分割されるが、録音を止めない限りすぐに次のファイルが作成され、後から復元すると隙間ができないように設計されているのである。

もし 32GB のカードが装備されていれば、48KHz/24bit で実質 32 時間弱の連続録音が可能なのである。

復元の方法は、それぞれのファイルを読み込み、順番につないでいけばよいのだが、復元以降の作業では、いくつか問題が生じる場合があるので注意しなければならない。